

稲美町



稲美町は、播磨平野東部に広がる東播磨地域に位置し、古来は「いなみ野」として「万葉集」にも詠まれてきました。県下最古といわれる天満大池をはじめ、町内には総面積の多くを占める農地を潤す88か所のため池が点在していることが大きな特徴です。

この恵まれた自然環境のもと多種多様な農業が育まれ、町内で生産される特別栽培米「万葉の香」は、稲美町独自の認証制度「稲美ブランド」に認定されており、学校給食に提供されるなど、長年にわたり地域で親しまれてきました。本町では、次代を担う子どもたちへ稲美町の豊かな自然を伝え残すため、学校給食に提供される「万葉の香」を、農薬に頼らない栽培方法で生産されたものに全量転換することを目標に、生産者と関係機関が一丸となって事業に取り組んでいます。

この豊かな自然は先人から受け継がれてきた稲美町の誇りです。私たちは、この自然豊かな「稲美町」を未来へ繋いでいくため、地域一体となって環境に配慮した農業への理解を深め、持続可能な農業生産の実現に向けたさらなる取組を推進することを決意し、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和8年2月8日
稲美町長

中山 哲郎